

第二三三三回ペン川柳会

令和五年十月二十四日

お題 「舌」

■ 三春(火酒)

ウオツカ

奢りなら不味い料理も舌鼓

甘い汁しやぶり尽くすは二枚舌

■ 八木 (明迷)

めいめい

舌の根が乾かぬうちの記者会見

二枚舌上下のどちらが正しいの？

■ 松谷 (零門)

れいもん

謝罪の場舌先だけのお辞儀だけ

何枚の舌があるんや詐欺師ども

■ 安藤 (晃二)

てるつぐ

舌平目ついでにキスの捌き方

老いる程ますます上手舌鼓

■ 浜田 (我々好)

ウイスキー

いまグルメネットの星で舌誇る

長い舌足りぬフリして答弁し

■ 山縣 (安兵衛)

やすべえ

舌足らず親缶づめの法づくり

利権屋は舌一尺の化けものか

■ 塚田 (拿々)

ただ

舌足らず誤解を生んで部下逃げた

滑舌が悪くなったは歳のせい？

■ 稲宮 (井波) いなみ

毒舌を絶妙に吹く粹なやつ
政治屋は三枚あるよ本音舌

■ 大野 (だし)

天罰か暴言過ぎて舌癌に
奥座敷そつと忍んで舌を出す

世話人 塚田 實 (拿々) だだ